

③ ロッチデール公正先駆者組合

組合の成功

ロバート・オウエンの協同思想を受け継ぎ成功をおさめたのが、ロッチデール公正先駆者組合という消費組合です。

この組合は、一八四四年十二月二十一日、イギリス西北部の町、ロッチデールで28人の労働者が出資金を出し合い設立されました。設立に当たって一番の問題は出資金（一口一ポンド）の確保でした。これは、当時の労働者がすぐに出せる金額ではなかったため、組合は、加入希望者に対して、週二ペンス（一ポンドは二四〇ペンス）ずつ一年間の分割払い込みも認めました。

こうした苦労が実って、二十八ポンドの出資金が全額払い込まれ、小さな倉庫の一室を借り、小麦粉、バター、砂糖、オートミール、ローソクという、たった五種類の商品を並べた店舗経営をはじめたのです。店が開くのは週二回の、夜だけでしたが、理想を高く掲げ、あくまで現実を踏まえた運営を行いました。

組合の規約

組合は、現金取引を導入し、収支バランスがとれた健全な生活習慣を身につけること、出資配当には制限を設ける一方、購買高に比例した利用配当を行い、それらを貯金として組合に積み立てること、さらに健全な生活習慣と節儉のために、禁酒も要求しました。

店に並べる商品は、品質優良で正しい量目のものでした。周りの商店が掛け売りで、粗悪な商品を不正な量目で売りつけていたことから、地域の評判は一気に高まり、組合員数も売上高も拡大の一途をたどりました。

ICAの設立へ

こうした優れた実践が高く評価され、協同組合の活動が世界中に広まると、世界的な連帯の気運が高まり、一八九五年（明治二十八年）、今日まで続いている国際協同組合同盟（ICA）が設立されました。

ロッチデール原則と呼ばれる公正先駆者組合の規約は、その後、ICAの協同組合原則の中に生かされるようになりました。

『JAと私たちの役割』石田正昭著より



ロッチデール公正先駆者組合の店舗と創始者たち

『新 協同組合とは<三訂版>』
JC 総研 からの引用

ロッチデール原則

- ① 組合員は一人一票の議決権をもつ
- ② 資金は組合員の出資による
- ③ 出資に対する配当は一定利率以下とする
- ④ 剰余金は利用高に応じて分配する
- ⑤ 商品は市価で組合員に供給する
- ⑥ 掛け売りはせず現金で供給する
- ⑦ よい品質のものを正確な量目で供給する
- ⑧ 政治や宗教に対して中立を保つ
- ⑨ 組合員の教育に力を注ぐ